

「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

埼玉労働局長(安藤よし子)の第一回トップ訪問は、
平成24年7月10日、埼玉縣信用金庫(さいしん)の安田理事長を
お訪ねしました。



<訪問企業プロフィール>

埼玉縣信用金庫(理事長 安田 格)

熊谷市久下4丁目141番地

金融保険業

労働者数 2,344名(うち女性1,003名)

くるみん取得(2010年5月)

荻野吟子賞受賞(2012年2月)

<訪問のあらまし>

平成24年7月10日、JR高崎線「行田駅」から徒歩10分弱のところにある「さいしん」の愛称で地元で親しまれている「埼玉縣信用金庫」本部を訪問しました。

理事長安田格氏をはじめ鈴木理事、田中人事部長、関田人事部次長にもご同席いただき、埼玉縣信用金庫のポジティブ・アクションの取組状況等について伺いました。

冒頭、安田理事長は、「女性はとても前向きに仕事に取り組んでいますよ。」とお話しを始められました。



「金融機関は預金、融資、得意先の3つの仕事が全て出来て一人前。昔は、女性は預金係に偏っていましたが、今はジョブローテーションを行っています。女性の得意先係は『なでしこ地区担』という愛称で活躍しています。現金を持ち歩くため、過去には男性も襲われそうになったことがあるそうです。そこで、女性にはポケットベル、携帯を持たせ、護身術の研修なども行っています。」とのことでした。

女性管理職は、次長が4人誕生していますが、残念ながらまだ支店長はいません。でも、女性の支店長はまもなく出てくるだろう、いずれは女性の役員も出せるようにしたい、ということでした。

「さいしん」では、2004年からポジティブ・アクションの取組を始め、研修で男性管理職の意識改革からはじめ、体制の整備を図ってきました。

最近、新卒者50人採用のところに5,500人もの応募がありました。事前リサーチを確実にやってくる優秀な女子学生が多く、採用者の過半数を女性が占めているそうです。最近、女性の経営者も多くなってきているし、顧客には女性も多い。女性にはまじめな社員が多く、顧客をきちんとフォローするので高額商品を売るのも上手だということです。



男性ばかりのところに女性が入ってくるとやりにくいのではないかと、女性のみ支店というものを検討したことがあるそうですが、これについては、「女性のみ支店はよし悪しです。女性ばかりだと緊張感がなくなることもありますから、男女適当に混ざっているのがいいです。」と安藤局長。「女性社員と一緒に働くことに慣れてない

男性はかえって気をつかってしまったりします。役所はポストで仕事をします

から、担当者が女性でも男性でも性別に関わりなく仕事しやすい。組織の中での役割意識のしっかりした男性がいれば、女性も活躍しやすくなります。」また、「両立支援対策を充実していただくのは結構ですが、女性が制度の取得で満足してしまうと会社にとって負担になってくる。きちんと働きが評価されて、上に行ける道が見えてくると女性も頑張れるようになり、うまく回るようになる。経験をきちんと積ませて、育てるのが大事。「さいしん」のような地場の企業にしっかり取り組んでいただきたい。」とエールを送りました。